

第 3 回 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会 募集要項

1. 第 3 回 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会について

今年も、生命機能研究科の学生が主体となって企画・開催される、学生・若手のための研究交流合宿を開催します。本合宿は、生命機能研究科 GCOE プログラム「高次生命機能システムのダイナミクス」の一環として、「異分野融合」を担う人材の育成を視野にいたし、生命機能研究科の若手・学生間での研究交流を目的としています。

3 回目となる今回は、「異分野融合」だけではなく、海外からの若手・学生を招集し、「異文化交流」も積極的に行える合宿となっています。参加者全員が積極的に発言し、熱いディスカッションを通して参加者同士のつながりが強くなるようなプログラムにしました。さらに彼らとの「異文化交流」が円滑に行えるように意見交換を積極的に行える環境づくりに力をいれました。

この合宿を通して、異なる文化と異なる分野の人たちの考えに触れ、それまでとは違った新たな視点を身につければ新しい何かが生まれると信じています。

私たちとともに

「異分野 融合」

×

「異文化 交流」

を成功させましょう。

最後に、合宿で皆さんと有意義な時間を過ごせることを楽しみにしています。

第 3 回 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会 実行委員長 牧野文信

2. GCOE 拠点リーダーよりお誘いのメッセージ

生命機能研究科の大学院生、PD 研究員、特任助教、助教の皆さん

生命機能研究科のグローバル COE で我々がめざすのは、基礎生命科学、医学、理学、工学を含む広い範囲の研究分野の融合を推進して、従来の生命科学の枠組みを越えた世界最高水準の分野横断的教育研究拠点を創ること。そして国際交流を推進して、次世代の国際社会を担う若手人材を育成することです。

主役は学生と若手研究者である皆さんです！

生命機能研究の様々な分野を世界の最先端で牽引するこの研究科で、その研究の枠組みをぶち破り、さらに高いレベルに発展させて、未来医療や新しい原理に基づくものづくりに展開させるためには、異なる分野で教育を受けた皆さんがお互いの垣根を越えて密に議論を重ね、新しい研究分野や研究手法を切り開く以外に道はありません。各グループの研究を個別に推進するだけでは実現不可能な「未知の領域への挑戦」。これがこの研究交流会のキーワードです。是非この会に参加して生命機能研究の未来をじっくり語り合ってください。きっとそこに何か生まれるはずです。

この GCOE 学生主催合宿研究交流会は、異分野融合の積極的な推進のためにと考えた活動の一つであり、生命機能 GCOE 活動のなかで最も重要なものです。皆さん一人一人がこの機会を積極的にかつ有効に活用して、普段はあまり話し合う機会のない研究分野の人たちといろいろな話をするきっかけにして、今後の研究に役立てて欲しいと思います。

今回は海外からも大学院生や若手研究員を招いて、皆さんと一緒に異分野融合を満喫することになっていきます。この貴重な機会を大いに楽しんでください。そうするうちに必ずどこかで「おもしろい」研究が生まれてくるはずですよ。それを楽しみにしています。

柳田敏雄 GCOE リーダー
難波啓一 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会担当運営委員

3. 開催日程

2009 年 8 月 24 日（月）～ 26 日（水）（2泊3日）

4. 会場

六甲スカイヴィラ

六甲山の豊かな自然、山上から望む神戸の 1000 万ドルの夜景。静かにゆったりと時間が流れるホテル。
公式 HP: <http://www.skyvilla.jp/>

※インターネット環境がございませんのでご注意ください。

5. 参加対象者

生命機能研究科に所属する D1 から D5 の学生と、助教・ポスドク、および関連する海外の研究室に所属し各研究室教授の紹介を受けた学生と、助教・ポスドク。

※ GCOE からの支援を受けている生命機能研究科の学生・ポスドクは積極的にご参加ください。

※生命機能研究科 GCOE 担当講座の学生は、他研究科であっても参加できます。

※その他の所属の方はお近くの GCOE 合宿実行委員、もしくは下記まで連絡してください。

（問い合わせ先： arkw@fbs.osaka-u.ac.jp）

6. 参加費

参加費 21000 円を当日支払って頂くこととなりますが、GCOE から後日旅費として一部が支給されます。

※別途、傷害保険に加入していただく場合があります（実費）。

生命機能の学生の方で、入学時に学生教育研究災害障害保険に加入されている方は新規に加入していただく必要はありませんが、念のため加入の確認をお願いします。

7. 応募方法

メールに添付されている応募フォームを、7 月 3 日（金）17:00 までにメールに添付して荒川（arkw@fbs.osaka-u.ac.jp）まで提出してください。その際、メールの件名は「GCOE 合宿応募」としてください。

※原則としてキャンセルは認めません。

※やむを得ず途中参加を希望する方は、その理由を添えて応募してください。

※参加を希望される方で、上記期限までに予定が確定しない方は

応募フォームの所定欄にその旨をご記入の上、上記期限までに提出してください。

8. 合宿内容

各研究室の研究内容を踏まえた上で、個人の研究とその融合について少人数でディスカッションすることを目的とした構成になっています。

(1) 座談会

少人数のグループとなり、各個人の研究紹介をします。少人数で行うため疑問を口にしやすく、全員が発言し深く議論できる場となっています。また、分野の近いメンバーで深く語らう場と、分野の離れたメンバーと交流する場の両方を設けています。

※海外からの参加者との意思疎通を円滑に行うため、
今回は研究紹介に使用して頂く資料は原則英語とします。
また発表も基本的には英語でお願いします。質疑応答については日本語も可とします。

(2) 特別講演

1. 演題：「染色体進化の実験的再現への取り組み」
講演者：石井 浩二郎 独立准教授
所属：大阪大学生命機能研究科 生命機能専攻 染色体機能制御研究室
公式 HP: <http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/labs/ishii/>
2. 演題：「生物電気化学の基礎と展望」
講演者：加納 健司 教授
所属：京都大学農学研究科 応用生命科学専攻 生体機能化学研究室
公式 HP: <http://www.bapc.kais.kyoto-u.ac.jp/>

(3) グループディスカッション

少人数チームとなり、一つのテーマについて議論していただきます。その後、討論の結果を各グループの代表者が全体に発表します。分野の離れたメンバーが交流しながら協力して取り組めるような場となります。

※グループディスカッションについては英語のグループと日本語のグループを作ります。

(4) ポスターセッション

ポスターなどを用いて研究紹介を行なうための、専用の時間を設けました。座談会で異なるグループにいた方とも、自由に議論を行なうことができます。

※なお、当日のタイムテーブル等詳細については開催時期により HP に掲載できない場合もございますのでご了承ください。

9. 参加者の皆様に用意していただくもの

(1) 研究紹介用資料（各個人）※資料は原則英語とします

座談会では、皆様（事情により発表できない方を除く）お互いに自身の研究内容を紹介して頂きます。発表形式は基本的に自由ですが、スライドの場合は互換性等の問題がありますのでご注意ください。プレゼンテーションソフトは PowerPoint 2007 を使用できる予定ですが、ポスター（あるいはそのハンドアウト）にしていただくのが無難かと思えます。座談会で伝えられる時間は限られていますので、自分の伝えたいことをスムーズに伝えるために必要なものをご用意ください。

※ PC、ホワイトボードなど発表に必要な備品は基本的にこちらでご用意致します。
特別に必要なものがありましたら 11 項の連絡先までお問い合わせください。

(2) 個人研究紹介用ポスター（任意）**※原則英語とします**

座談会の発表用のものと同じでも構いません。ご持参いただいたポスターは合宿中を通して掲示し、座談会で伝えきれなかった内容などを自由に議論できるようにしたいと思います。

他に研究室の研究内容などを特に伝えたいという希望があれば、研究室紹介用のポスターも並べて掲示いたしますので応募フォームの備考欄にご記入いただいた上で、ご持参ください。

10. GCOE 合宿ホームページ

URL: <http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/events/wakate/>

11. 問い合わせ先

下記の担当者、または各研究室の代表者にお問い合わせください。

(第 3 回 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会 担当者連絡先 : arkw@fbs.osaka-u.ac.jp)